

X線骨密度測定装置 EXA-PRESTO
USER'S VOICE

高齢者が寝たきりになるのを防ぐため
コストとスペース、サポートを検討して
当院への導入を決定しました。

にしち整形外科・リハビリテーション科 様 (兵庫県)

院長 西地 晴彦 先生



改善が難しい骨密度低下のリスクを 一人でも多くの人に伝えたい

にしち整形外科・リハビリテーション科(以下当院)は、兵庫県尼崎市南塚口町、阪急神戸線塚口駅から徒歩6分ほどの住宅街の中にある医療機関です。近隣に幼稚園や高校があるため、幼児から超高齢者まで幅広い年代の患者さんが来院されます。高齢者の方ばかりでなく、ひざの痛みが始まる40代から50代の患者さんも増えています。当院の理念は、「みんなは一人のために、一人はみんなのために」です。「患者さんに満足していただく」こと、そして「働きやすい職場を実現する」ことを大切に、地域医療への貢献を目指しています。

来院される患者さんの症状で最も多いのは、膝や股関節など関節の痛み。次に腰痛や手足の痺れです。骨粗鬆症が気になるからと来院される方は少なく、ほとんどの方が検査をした経験もありません。しかし、寝たきりになる高齢者の12%は骨折転倒が原因だというデータがあります。当院が骨粗鬆症の検査と治療に力を入れているのは、高齢者の方々が骨折して寝た

きりになるのを防ぐためです。骨密度を測定する基準となるYAM値は80%以上を正常値としていますが、検査をすると高齢の女性にYAM値の低い人が多いのです。表立った症状がないので、検査をしないと骨粗鬆症であることがわかりません。一般的に骨密度は何もしなければどんどん下がる一方です。ですので、早期発見、早期治療が重要です。骨粗鬆症の治療によって、骨密度を上昇させる、あるいは何もしなければ下がる骨密度を、せめて緩やかにすることが可能です。色々なご意見があると思いますが、当院では女性であれば40歳以上、男性なら70歳以上の方には、一度検査を受けるように推奨しています。できるだけ多くの人に検査を受けてもらうため、当院は2024年1月にX線骨密度測定装置EXA-PRESTOを導入しました。

患者さんの負担を増やすことなく 当院に最適な選択を実現した

骨密度の測定方法には超音波測定、DXA法、MD法など、さまざまな種類があり、いずれもメリットとデメリットがあります。トータルで考えれば腰椎、大腿骨頸部を測定する骨量検査装置が理想ではありますが、この装置はかなり大がかりであり、かつ当院で採用したものよりもかなり高額です、さらに保険点数も腰と大腿骨では450点です。しかし、当院の骨量検査は140点です。ご意見の分かれるところだと思いますが、当院では検査費用の軽減により、患者さまのご負担額を減らす方を選びました。

当院のような規模のクリニックにとっては、導入コストにおいても、設置するスペースにおいても、場所をとらないデスクトップ





簡単でスムーズなポジショニング

タイプで、低線量により橈骨を測定できるEXA-PRESTOが最適な選択でした。測定値の精度の高さももちろん、導入・運用コストの低さも大きなメリットです。実際に導入して以来、大きく経費を減らすことができました。骨密度測定を行う患者さんは平均して日に3人ほどで、1カ月で約100人に達します。検査数によりますが、業者さんに委託するよりは当院では購入した方が経済的でした。

■ ポジショニングが容易で操作しやすく 患者さんに快適な検査環境を提供できる

いま、同じX線測定室に一般撮影装置とEXA-PRESTOの2台のX線撮影機器を設置していますが、特に問題なく運用しています。一般のX線撮影は多い日には20人ほどになりますが、EXA-PRESTOの測定、解析時間は1分と短いので、診察の流れを検査待ちで妨げることはありません。変形性膝関節症と骨粗鬆症など、両方の測定が必要な患者さんもいらっしゃるのので、設置場所を分けないほうが効率的だと思います。

前述の腰椎、大腿骨を検査する骨密度測定機器の場合は、患者さんのポジショニングなどに結構時間がかかります。トータルで10分近くかかることもあります。EXA-PRESTOなら、患者さんに無理な姿勢を強いることなく、担当の看護師が代わって

も高い再現性を実現できます。導入にあたっては、操作が簡単で扱いやすいことも決め手になりました。

撮影したデータの解析が速く、検査してすぐに高画質な画像を確認できることも診察の効率化に貢献しています。測定結果のレポートはわかりやすく表示されるため、患者さんへの説明にも役立ちます。検査結果のデジタルデータを保存して、患者さんの経年変化を管理できるため、今後の治療に大いに生かされると期待しています。

性能やコストに加えて、導入に関する諸手続きのサポートや、アフターサービスの手厚さも、判断を後押ししました。

■ 骨粗鬆症の早期発見で寝たきりを予防し 幸せで豊かな暮らしに貢献していきたい

骨粗鬆症の早期発見を通じて、年々膨れ上がる医療費の抑制に貢献したいと考えています。骨折して入院し手術をするよりも、通院で骨粗鬆症の治療をする方が医療費が少なくてすむため、患者さんの負担も減らせます。さらに、骨密度の検査を浸透させることで、高齢者の方が骨折をきっかけに寝たきりになるのを防げます。高齢者ご本人だけでなく、ともに暮らすご家族や地域の方々みんなを幸せにするために、これからもEXA-PRESTOを活用していきます。



画像解析の結果はPCで確認

総販売元



グローバル電子株式会社

〒162-0833 東京都新宿区単筒町35日米TIME24ビル

第1医療機器部

お問い合わせ (03)3260-1107 FAX (03)3260-2550

<https://www.gec-tokyo.co.jp/medical/pdxa-exa-presto>

製造販売元

グローバルマイクロニクス株式会社

〒277-0861 千葉県柏市高田1400-1

販売店